

観察記録・説明等



【2016. 6. 19】

・左の写真はジオネット1.2mmの区画です。5月24日にジオネットはそのままにして、枯れた芝を張り替えた区画です。芝は確実に活着していました。

・6月8日時点で最長3cmだったイタドリの芽は、今回は10cmになってました。発芽密度は8本/m²程度に増えています。(小さな旗が目印になります)草丈の範囲は1cm~10cmで、平均だと概ね4cm程度です。一方、在来法面のイタドリは最長で210cmになり、昨年の8月に張り芝した区画(ジオネットなし)のは最長90cmで、ジオネットの抑制効果は依然として明確に現れています。

・下はmax10cmの接写写真です。爪楊枝とほぼ同じ太さになっています。

・今までの観察では発芽して1ヶ月過ぎた頃から芽が変色し、成長が停滞しているのので、7月の中旬ごろにどうなっているか興味のあるところです。

